

この度は、故小澤正雄の合同葬儀に際し、多大なるお心遣いを賜り厚く御礼申し上げます。

代表取締役小澤正雄は、大正十四年四月四日 東京都港区に生誕いたしました。学習院大学を卒業後、昭和二十年株式会社湯旅を設立し、以来社長として常に陣頭に立ち、創業六十八年の歴史を築いて参りました。

昨年十月に病気のため療養されておりましたが、平成二十七年六月二五日午前十一時二十一分ご逝去されました。病名は胆管癌。享年九十歳でございます。

代表小澤正雄は、私共に対し、サービスマンのあるべき姿とは地域に密着した商いをする事こそが今も昔も変わらない営業哲学あること、そして当社の根幹にある営業理念であることを、自ら社に足を運び伝承していただきました。

また、昨今報道で浅間山・箱根山の噴火に際し、闘病中にあるにも関わらず弊社の主軸である修学旅行や林間学校の動向に危惧され、恒にお客様の安全に関し配慮しておりました。

原点回帰、当社の理念である第一優先は児童生徒の皆様の安全であることが改めて忘れてはならない大切なことと気づかせていただきました。

お客様の満足が全て、根っからの営業マンであり、大手旅行会社ではできないきめ細やかなサービスマンを提供し、またお客様との関係を大切に一步一步地道な営業展開を推進し、社の信頼を地道に築いてきたことで、今の湯旅の磐石な基盤がございます。

その歴史を、これより我々がしっかり継承していく所存です。

代表小澤正雄は私どもにとっかかりがえのない存在であっただけに、社員一同大きな衝撃の中にあります。しかし、これを乗り越えて、代表の精神を体に刻み込み、一層信頼されるサービスマンのご提供に努めていく所存です。

これが代表小澤正雄に報いる唯一のことであると思えます。

皆様におかれましては今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

本来であれば拝趨の上ご挨拶すべきところ、略儀ながら書中にて失礼致します。

最後になりますが、代表小澤正雄のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

平成二十七年七月二日

株式会社湯旅 取締役社長 及び 葬儀委員長 佐久間慶太